

# いずみさの教育

NOW

問合先  
学校教育課  
☎493-2091

## 学び続ける専門職 子どもたちの安心と明るい未来社会の実現に向けて

子どもたちが安心して学び、健やかに成長できるよう、小・中学校の教職員もさまざまな研修に取り組んでいます。社会が大きく変化し、先の見通しが難しくなっている今、学校教育も新しい課題に直面しています。1人1台端末（クロムブック）が導入されたことで加速したICTの活用、SNSなどの普及で複雑化するいじめ問題、さまざまな背景を理由に増加している不登校児童生徒への対応、個々の特性と状況に応じた支援教育の推進など、教職員が身につけるべき知識や技術の範囲はとてども広がっています。

子どもたちが安心して学び、健やかに成長できるよう、小・中学校の教職員もさまざまな研修に取り組んでいます。社会が大きく変化し、先の見通しが難しくなっている今、学校教育も新しい課題に直面しています。1人1台端末（クロムブック）が導入されたことで加速したICTの活用、SNSなどの普及で複雑化するいじめ問題、さまざまな背景を理由に増加している不登校児童生徒への対応、個々の特性と状況に応じた支援教育の推進など、教職員が身につけるべき知識や技術の範囲はとてども広がっています。

校内においても、教職員が授業を参観し、授業内容について協議する研究授業や児童生徒の命を守るための救命救急講習、不審者対応研修、アレルギーに関する研修など、継続的に学んでいます。

「学び続ける専門職」として研鑽を積んだ教職員が、ていねいに関わることで、子どもたちの安心や健やかな成長につながり、明るい未来社会の実現につながると考えています。

こうした取組の意義を理解していただき、学校・家庭・地域が協力し合う教育環境づくりに引き続き、ご支援ご協力をお願いします。

また、研究機関である泉佐野市学校教育研究会の部会に所属

## 学校園紹介

### 妙光寺と観月祭 ～新池中学校～

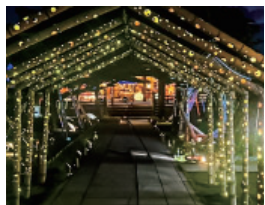
新池中学校の校区内にある妙光寺では、毎年10月に「観月祭」という行事が開催されています。寺の境内に竹灯籠が飾られる美しいイベントです。

竹灯籠とは、たくさんの穴を開けた竹の内側に灯りを入れた灯籠で、大小の穴が光の点となり、その光が連なることによって、模様や文字などが美しく浮かび上がります。約千本の竹灯籠が幻想的な風景を生み出すのです。

この観月祭に本校の生徒たちが毎年参加しています。これまでも、子どもたちが制作した竹灯籠や、絵を描いた和傘などを飾っていただきました。

今年の観月祭では3年生有志のチームがソーラン節を踊らせていただいたのですが、地域のみなさんからの大きな拍手に子どもたちの笑顔も竹灯りに負けないくらい輝いていました。650年の歴史をもつ妙光寺と、未来の創り手である子どもたちが、竹灯りの温かい光に照らされながら豊かにつながるその景色は感動的です。

古き良き港町の情緒と、世界に開かれた空港都市の活気が調和する泉佐野市にふさわしい、過去と未来を結ぶ素晴らしい地域行事です。



### 地域とのつながり ～日根野中学校～



日根野中学校では、自分たちの地域のことをより知っていきこうと、校区内のフィールドワークを行っています。意賀美神社や井川、日根荘など地域の重要な文化財などから歴史や文化を学ぶとともに、地域で仕事をしている人たちの話を聴き、自分たちの育った地域を大切に思う気持ちを育てていきたいと考えています。

グループごとにコースを決め、それぞれの場所を訪れ地域の人からその場所にまつわる歴史的な話や仕事に対する思いなど聴かせていただくを通して、地域の人たちとの交流にもなっていると考えています。また、地域の中を歩くことで、地域の風景や日常の様子などにも触れることができます。

実際にフィールドワークを行った後は、気づいたことや感じたこと、学んだことをまとめ、地域への発信につなげています。



今後も、地域をよりよくしていくために、自分に何ができるかを考え、行動に移していくことができるようにとりくみを進めていきたいと思っています。

